

駅構外からみた鉄道および関連施設の見え方に関する基礎的研究

北陸・甲信越地方と九州地方の宿泊施設を対象として

Fundamental Research on How Railways and Related Facilities Appear from Outside

The Train Stations: Hospitality Facilities in Kyushu and Hokuriku Areas

○西山竣也¹, 天野光一², 西山孝樹²

*Shunya Nishiyama¹, Koichi Amano², Takaki Nishiyama²

With the 2020 Tokyo Olympics and Paralympics on the way, many hospitality facilities are opening in Tokyo. These properties are offering various accommodation arrangements to the guests. This paper studies how railways and related facilities such as railway tracks and train stations appear from these types of accommodations and how they are featured.

1. はじめに

わが国の宿泊施設では、集客のために様々なプランが企画、販売されている。さらに、客室等からの美しい眺めも、各宿泊施設の強みとして紹介されている。

そこで本稿では、宿泊施設から鉄道および関連施設などがどのように見え、その紹介はどのように記載されているかを考察することとした。

2. 研究方法

本稿では、『楽天トラベル』のインターネットサイト『鉄宿！鉄道&電車の見えるホテルを徹底紹介』^[1]から、北陸・甲信越地方および九州地方に所在する宿泊施設を研究対象とした。

各々の宿泊施設が紹介されたページにおいて、鉄道路線や駅の見え方がどのような魅力として紹介されているか、記述内容に写真や動画を加えて類型化を行った (Table. 1)。なお、Table. 1 中の件数は重複しているため、1 ホテル 1 分類とは限らない。

3. 研究結果

先述の研究対象としたインターネットサイトには、北陸・甲信越地方のホテル 32 件、九州地方のホテル 27 件、合計 59 件が紹介されていた。それらのホテルでは、何がどのように見えるのかをまとめた「視対象」とホテルのどの場所から鉄道や駅が見えるのかをまとめた「視点場」の 2 つに分類した。

(1) 視対象 (56 件)

a) 鉄道車両の眺め (33 件)

様々な種類の鉄道が列挙されていた。また、往来する鉄道車両の「数」や「頻度」に関するものが多く記載されていた。

「往来する鉄道車両の数」については、「色々な列車がすぐ目の前を行き来しており」など、多種多様な鉄道車両が眼前を走行することが記載されていた。

「往来する鉄道車両の頻度」については、「列車が頻繁に往来して」などの表現があった。その一方で「頻繁に列車が来るわけではない」など、列車が往来する

Table.1 北陸・甲信越地方および九州地方における鉄道および関連施設の見え方に関する分類

大分類	中分類	小分類	細分類	合計
(1) 視対象	a) 鉄道車両の眺め		往来する鉄道車両の数	8
			往来してくる鉄道車両の頻度	7
			貴重な鉄道車両	26
	b) 駅の眺め		駅と発着する鉄道車両の眺め	36
			駅のホームの眺め	18
			単に駅が見えるのみの記載	14
	c) 線路の眺め	線路の線形	カーブした線路	3
			交差した線路	1
			分岐した線路	1
			鉄道車両が向かってくる様に伸びた線路	10
			貨物専用線路	1
			モノレール線路	1
	d) 鉄道関連施設&鉄道車両の眺め		車両基地、車庫	1
			給水塔	1
			ターンテーブル	1
			廃線跡	2
			踏み切り	5
			トンネル	2
	e) 自然街並み & 鉄道車両の眺め	自然	山 (固有名詞記載の山)	6
			山 (ただ単に山と記載)	7
海			1	
街並み		近景	13	
		遠景	13	
		夜景	6	
(2) 視点場	a) 客室からの眺め	部屋の窓	59	
		お風呂	2	
	b) 客室以外からの眺め	エレベーター	2	
		エレベーターホール	1	
		廊下	4	
		踊り場	1	
		サービス その他	11	

1 : 日大理工・学部・まち, 2 : 日大理工・教員・まち

頻度の少なさに着目した記載もあった。

「貴重な鉄道車両の眺め」の記載が26件でみられた。北陸・甲信越地方では、「クモユニ143」「115系天国のしなの鉄道」「トロッコ列車」などが該当し、九州地方においては「クルーズトレインのななつ星」や「幸せの黄色い列車カラーリングの鉄道」などが走行する姿をホテルから眺められると記載があった。

b) 駅の眺め (39件)

「駅の眺め」については、39件と多くみられた。「駅に出入りする列車を眺めることができる」の記載は、北陸・甲信越地方で「北陸新幹線と在来線が駅に発着する姿が見える」、九州地方では「博多駅方向に発着する列車を見ることが出来ます」などであった。

「駅のホームの眺め」は、発着する列車に乗り降りしたり、ホーム上を往来したりする人々の様子などが示されていた。

「単に駅が見えるのみの記載」は、「駅が見えます」のみの紹介が多かった。一方で、駅舎が原因で「電車が見にくい」や「駅の屋根ばかり見える」など、マイナス面の紹介もされていた。

c) 線路の眺め (16件)

「線路の眺め」については16件と比較的少なかった。そのなかでも「線路の線形」の記載が14件と最も多く、「鉄道車両が向かってくる様に伸びた線路」の記載が10件にのぼった。例えば、「北陸本線が手前側に迫ってくる」などがあった。その他には「カーブした線路」が3件、「交差した線路」が1件、「分岐した線路」が1件ずつの記載であった。

さらに、「貨物専用線」については「全国的に見ても珍しい」との記載があった。また、「モノレールの線路」など特徴的な構造の路線に着目していた。

d) 鉄道関連施設と鉄道車両の眺め (11件)

「鉄道関連施設と鉄道車両の眺め」について、ホテルから車両基地が眺められることに触れたものが1件であった。また、「廃線跡」が眺められるホテルが紹介されていた。長野新幹線と共に旧信越本線の廃線跡と旧プラットホームが同時に俯瞰できるのであった。

「蒸気機関車時代に使われていたもの」として、敦賀駅の給水塔やターンテーブルなどの鉄道遺構がみられることに触れていた。これらの記述は、本項の特徴的な記述として考えられる。

e) 自然、街並みと鉄道車両の眺め (26件)

「自然」を背景として、鉄道車両が走行する姿を眺められるホテルが多かった。ただ単に山が見えると記載されたホテルであっても、その山々に咲き乱れる桜

や紅葉が、美しい写真と共に紹介されていた。また、「富士山」や「浅間山」など、その地域のランドマークとなる山々を眺められるホテルもあった。

「街並みと鉄道車両の眺め」については、高層のビル群を背景に鉄道車両が走行するというよりも、低層の住宅が広がる街並みと共に眺められることを中心に述べられていた。特に「近景」では、街に雪が降り積もり、その中を鉄道車両が走行する姿などが紹介されていた。

(2) 視点場 (59件)

a) 客室からの眺め (59件)

視点場については、ホテルの「客室からの眺め」が59件すべてのホテルで記載されていた。なかでも「部屋の窓」が59件で、研究対象としたすべてのホテルが該当した。そのほかの客室設備では、「お風呂」が2件で記載されており、「お風呂から北陸新幹線を望むことができる」ことが紹介されていた。

b) 客室以外からの眺め (18件)

「客室以外からの眺め」は、「エレベーター」が2件、「エレベーターホール」が1件、「廊下」が4件、「踊り場」が1件で記載されていた。

また、「その他・サービス」として、見え方とは関係はないが、「温泉があるホテル」や「電車が見える部屋をホテル側が何部屋か押さえてあり、当日選べるサービスをしてもらえた」などの11件が該当した。

4. まとめ

本稿では、北陸・甲信越地方と九州地方を対象に、鉄道路線や駅の見え方がどのように魅力として紹介されているか、その記述に加えてページ内の画像・動画からわかることも抜き出し、類型化を行った(**Table.1**)。

「視対象」では、「駅の眺め」の記載が最も多かった。「鉄道車両の眺め」では、往来する車両の頻度やその種類の多さに言及していた。「線路の眺め」では、宿泊しているホテルに車両が向かってくるように見えるところが多く紹介されていた。「鉄道関連施設と鉄道車両の眺め」においては、給水塔やターンテーブル、廃線跡といった鉄道関連遺構にも触れられていた。

「視点場」については、ホテルの部屋から鉄道および関連施設を眺められることはもちろんのこと、お風呂の窓やエレベーターからも同様に眺められることがホテルの魅力として挙げられていた。

5. 参考文献

[1] 楽天トラベル: 鉄宿! 鉄道&電車の見えるホテル徹底紹介, <https://train-hotel.net/>, 日本語, 2019年9月19日閲覧.